



感染対策を多職種で考えるシンポジウム開催

薬剤師・介護福祉士・看護師が病院の精神科・高齢者施設の現場から

【5月27日、13:00～ 広島国際大学呉キャンパス】

広島国際大学（学長/焼廣益秀）は5月27日、呉キャンパスで公開講座「多職種で推進する感染対策についてのシンポジウム」を開催します。感染対策に携わる有識者を招き、その経験から多職種連携で活かせる取り組みを考えます。

院内の医師や看護師、薬剤師などで組織する**感染対策チーム（ICT=Infection Control Team）の必要性**が注目されるようになったのは、2000年代に入ってから。2002年に診療報酬の改定で、対策未実施の場合、点数が減算されるようになったことにより、各病院でチームの組織化が進みました。

感染対策が特に難しいとされるのが、病院の精神科や高齢者施設です。精神科は患者の特性上、閉鎖病棟や隔離室を多く持つことから、換気しにくく感染拡大の恐れが高まります。一方高齢者施設も、利用者の年齢からくる免疫力の低下から、感染が拡大する危険があります。シンポジウムでは、看護学科の糠信憲明准教授が精神科における感染対策の歴史・現状などの説明を行ったあと、**病院の精神科と高齢者施設の第一線で感染対策を実施してきた薬剤師、介護福祉士、看護師とともに、チームで行う感染対策を議論します。**

つきましては、次のとおり開催概要をお知らせしますので、事前告知や取材の機会がありましたら取り上げていただきたくよろしくお願いいたします。

.....【開催概要】.....

1. 開催日時：2017年5月27日（土）13:00～15:30
2. テーマ：「多職種で推進する感染対策について
～精神科病院・高齢者施設で活かせる感染対策～」
3. 場所：広島国際大学 呉キャンパス2号館2階2201教室
(広島県呉市広古新開5-1-1)
4. 講演者：別所千枝氏（医療法人社団 更生会 草津病院 感染制御認定薬剤師）
久保井京子氏（元医療法人社団 更生会 草津病院 介護福祉士）
桑門昌太郎氏（医療法人社団 碧水会 長谷川病院 感染制御実践看護師）
5. 定員：50人（無料）
6. 対象者：医療職者全般（とくに精神科・高齢者施設に勤務する人）
7. その他：ご参考に講演者の略歴を添付します。

■取材の申し込みおよび内容に関するお問い合わせ先
広島国際大学 広報室（坂井） TEL：0823-27-3102、携帯：090-3038-9927

講演者の略歴

別所千枝（べっしょ かずえ）氏

1995年に徳島文理大学薬学部を卒業後、興生総合病院薬剤部、三原病院薬局を経て、2007年から医療法人社団 更生会 草津病院に勤務。

2010年に日本病院薬剤師会の認定資格、感染制御認定薬剤師を取得。病院内の感染対策に関するデータを集約、集計し、病原菌の種類に応じた薬の使用を医師に助言している。

所属は薬剤課で2015年から同課長代理。そのほか広島県病院薬剤師会の理事。

久保井京子（くぼい きょうこ）氏

2000年に草津病院に入職し、ヘルパー2級の資格を取得。2006年に介護福祉士、2007年に認知症ケア専門士、2012年に認知症上級専門士として2017年3月まで草津病院に勤務（定年退職）。在職中は介護職として感染対策チーム（ICT）に参画し、介護職や新人看護師への教育活動を積極的に行ってきた。

桑門昌太郎（くわかど しょうたろう）氏

2005年に千葉大学看護学部を卒業後、札幌ひばりが丘病院を経て、2008年から医療法人社団 碧水会 長谷川病院に勤務。

2011年に東京医療保健大学大学院感染制御実践看護学講座を修了し、感染制御実践看護師の資格を取得。感染対策専従として勤務したのち、医療情報技師の資格を取得し現在は電子カルテの導入、管理にも携わっている。所属は診療情報管理室・感染対策室・ICTの兼任。診療情報管理室副室長。